



イグニッションコイル交換時のお願い！

この度は、NAP優良製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
イグニッションコイルは電子部品です。下記の注意事項をご参考に交換下さいますようお願いいたします。

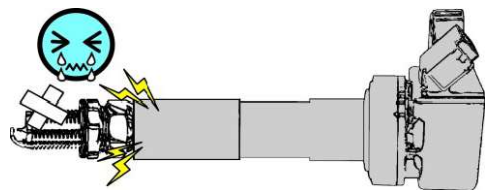
注1 イグニッションコイル交換時は同時に全数交換を。

故障部分のみ交換の場合、まだ故障していない他のイグニッションコイルも劣化が進んでおります。同時に全数交換をお勧めしております。



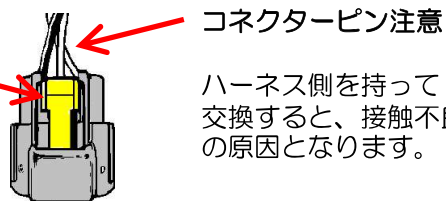
注2 イグニッションコイル交換時はスパークプラグの確認も。

消耗したスパークプラグを使用しますとイグニッションコイルの大きな負担となり、破損する可能性が高くなります。



注3 車両側コネクタの接続は慎重にお願いします。

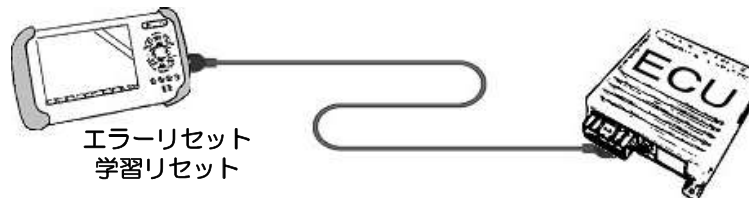
始動中のエンジンルーム内は非常に高温となっており、熱によりコネクタの劣化が多く見受けられます。交換の際、カブラーロック部分の破損や変形が原因で導通不良になってしまう事がございます。
また、車両側コネクタ部の端子が腐食しており、接点不良となることもございますので、ご確認をお願い致します。



ハーネス側を持って交換すると、接触不良の原因となります。

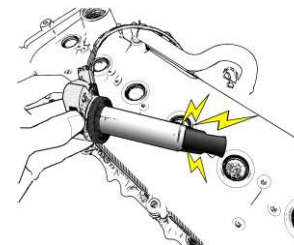
注4 ECU学習値のリセット

新しいイグニッションコイルと経年劣化をしたイグニッションコイルでは性能が著しく異なっている為、装着後は学習値のリセットもお勧めしております。



注5 開放状態での作動テストは、絶対に行わないで下さい。

開放(プラグを装着しない)状態での作動テストは、絶対に行わないでください。発生した高電圧が外部へリークすることで、製品が破損致します。



注6 オイル漏れは、イグニッションコイルの大敵です。

プラグホールにオイルが溜まっている状態で交換し走行すると、コイル内部で破損(ショート)する危険性が御座いますので、オイル漏れ修理後の交換をお願いします。

シリンダーヘッドから
オイル漏れしていませんか？

